

感恩のころ

No.15

関西福祉科学大学教育後援会 広報誌

大学と家庭の連携を密に 豊かな学びの支援を

教育後援会 会長 森島 研次



しくお願い致します。

会員の皆様には、平素より教育後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。6月1日に開催されました総会におきまして、会長という大役を仰せつかりました森島研次と申します。よろ

しくお願い致します。教育後援会は、大学と家庭との連携を緊密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、さらに大学の教育振興に寄与することを目的に平成17年に設立され、以来、保護者の皆様と大学との架け橋となり、将来を担う人材育成の一翼を担うべく活動を推進して参りました。今年度も、資格取得・キャリア形成・就職活動などの進路指導への支援、福利厚生への支援、自然災害時の緊急支援

に加え、家計急変時の奨学金給付金等の事業を行っております。日々、キャンパスには、学生たちの笑顔が集い、挨拶の声が響いております。大学での学びにより、心を豊かにし、感性を養え、社会に貢献できる人材に育ってほしいと思います。大学と保護者が手を携え、志を持って入学した学生が、本学で学ぶことに喜びを感じ、将来を見据えて有意義な学生生活を送れるよう、様々な支援活動を進めて参りたいと

考えております。そして、自分に合った進路選択をされ、夢の実現に向け、卒業後も生き活きと活躍されることを願っております。また、学生の成長を願い、保護者の皆様と大学の連携を図り交流を深めるため、本学・高松市・和歌山市・那覇市にて、教育後援会を開催しております。先生方との個別面談会や卒業生による体験談、講演会、就職状況の説明会等が行われます。大学との情報交換や交流の場でもありますので、是非ご参加頂きたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

のびしろを伸ばす教育

関西福祉科学大学 学長 八田 武志



理科学部は大過なく完成年度を迎え、本年度末には最初の卒業生を送り出します。

「す」を教学の合言葉にしているからです。

教育後援会・保護者の皆様には日頃から教学の支援に多大なご援助をいただき、厚くお礼申しあげます。社会福祉学部1学科から誕生した福科大は現在5学部6学科の規模まで大きく成長し学生数を増やしてきました、新学部である教育学部、心

私たち教職員は「人の幸せを願う」ところ根の優しい若者が、豊かな教養や専門職に必要な知識や資格を確実に取得できるように、教員一人当たりの学生数を少なくし、AA（アカデミックアドヴァイザー）制度を導入して学生の特徴を見極めながら、基礎力養成講座や受験対策講座などのきめ細かい対応を工夫しています。若者の「のびしろを伸ば

かした取り組みの成果として、平成30年度卒業生の就職決定率は98.5%と、全国平均をはるかに上回る成績を挙げることができました。社会福祉士国家試験の合格者数は63名と全国で17位、管理栄養士の合格率は98%でした。理学療法士の合格率は98.6%、作業療法士の合格率は84.2%、言語聴覚士の合格率は75.0%と全国平均をはるかに凌駕

しました。養護教諭の教員採用試験合格者数は33名を数え、全国でトップクラス状態を維持しています。このような教育の具体的成果は本学の教職員の頑張りが生み出しており、私は誇りに思っています。言うまでもなく、教職員が頑張れるのは後援会のサポートの賜物です。改めて感謝申し上げます。

福科大教職員は卒業生がいつまでも誇れる母校であり続けるように、若者の夢の実現に向けて、実直に教育研究活動に邁進して参ります。

大学のホーム・ページには教育研究活動だけでなく、さまざまな在学生・卒業生に関する情報を掲載しています。是非ご覧いただきますようお願い致します。

令和元年度 総会

去る6月1日(土)大学4号館1階大講義室に於いて、令和元年度関西福祉科学大学教育後援会総会が開催されました。

①平成30年度事業報告(案)および決算報告(案)、②令和元年度役員人事(案)、③令和元年度事業計画(案)および予算(案)

以上の審議事項はすべて承認されました。

すでに会員の皆様には、「報告書」として発送しておりますのでご確認ください。

また、当日の総会に引き続き、第二部では、各学科に分かれての学科セミナーを実施しました。第三部では、教職員と会員の皆様との懇親会を開催し、第四部では、担当教職員との個別面談会を行いました。延べ137名の方にご参加いただき、充実した内容の会となりました。ありがとうございました。



総会



総会



懇親会

令和元年度 事業計画

1. 学生の学業および課外活動への助成

(1) 褒章事業

① 学業優秀者表彰

② 学術文化・スポーツ活動奨励賞

③ 社会貢献活動表彰等

(2) クラブ・サークル等強化・育成事業

(3) 学友会活動の助成・支援事業

(4) 図書館事業に係る助成

(5) 海外研修制度の助成

2. 学生の進路指導への助成

(1) 資格取得に向けた学習活動への助成

(2) キャリア形成に係る自己啓発への助成事業

(3) 就職活動に係る支援事業

3. 学生の福利厚生を支援するための事業

(1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成

(2) 学生総合保険の内容充実支援

(3) 学生の健康管理助成

(4) 施設・備品等の充実助成

4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業

(1) 家計急変による生活困窮学生への奨学金制度

(2) 災害救助法適用地域の学生支援制度

5. 本学と会員相互の連携を図る事業

(1) 教育後援会総会の開催

(2) 教育懇談会の開催(本学及び地方にて開催)

(3) 教育後援会広報誌の発行

(4) ホームページの内容充実

6. その他本学が必要と認めた事業

(1) 地域社会連携事業への支援及び助成

(2) 教員の学術・教育研究及び職員の研修に係る助成

(3) 同窓会との相互連携に係る事業

教育懇談会開催報告

今年度も、本学および那覇市、高松市、和歌山市の四会場で教育懇談会を開催しております。既に6月7日(水)に那覇市、10月26日(土)には本学にて開催いたしました。教職員との個別面談会、卒業生の体験談、就職・資格セミナーを行いました。多くの保護者様に参加いただき、好評のうちに終わることができました。

11月24日(日)には高松市、12月1日には和歌山市で開催いたしますので、ご参加お待ちしております。

高松会場 リーガホテルゼスト高松

(J.R.高松駅から徒歩10分)

令和元年11月24日(日) 10:30~15:00

和歌山会場 ダイワロイネットホテル和歌山

(南海本線と和歌山市駅より徒歩8分)

令和元年12月1日(日) 10:30~15:00

教育懇談会は、保護者の皆様と大学教職員との交流・懇親の場として位置づけられており、日頃のご子弟の学修状況、学生生活、就職問題等の情報を直接得ることのできる貴重な機会となっております。



本学会場



沖縄会場

社会福祉学科

社会福祉援助技術現場実習指導

社会福祉学科では、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲを履修している学生が夏季休暇中を利用し、社会福祉施設・機関に出向いて実習を行いました。実習期間中は、実習指導担当教員が定期的に実習施設・機関に出向いて巡回指導を行うとともに、「帰校日」を設けて大学での指導も行っています。

「帰校日」指導では、実習指導担当教員と実習生による個別指導に加えて、他の実習生との意見・情報交換をすることが出来ます。今年も実習中に気づいた福祉職の面白さ、ソーシャル



ワーカー

として自分が高めていきたい技術など、大学で学んだ知識と実践を繋げていくための議論が活発に行われました。



した。

学生たちからは、「実習先によって学んでいる内容が違つて勉強になりました」、「仲間たちと自分の悩みや課題を共有することができて、心が軽くなりました。残りの実習、がんばって乗り切ります」と前向きな言葉を聞くことができました。

学生たちの福祉マインドが醸成され成長していく姿を見るのは、教職員にとっても非常に嬉しいものです。今後教職員一丸となって、継続的な指導に努めて参ります。

心理科学

精神保健福祉援助実習指導における学び

心理科学部の精神保健福祉援助演習や実習指導の授業では、精神科病院・障害者支援施設の精神保健福祉士や精神障害の当事者（利用者）に支援の実際や体験談を語っていただく機会を複数回実施しています。体験談の言葉一つひとつに耳を傾け、当事者と学生、ソーシャルワーカーも一緒に考え、学びを深める大切な機会であると感じます。

実践現場で働く精神保健福祉士の話を
受けて、学生からは「専門職が自己

覚知をす
 ることの
 重要性が
 よくわか
 った」「
 「自分の
 中の偏見
 （精神疾
 患に対す
 る）を認
 めること
 も大切だ
 と気付い
 た」「目

本の現状
（精神障
害者の長
期入院）
を変えた
いとあら
ためて感
じた、こ
れからさ
らに頑
張って
勉強した
い」、「ご本人（患者）の言葉の背景や意
味を十分汲み取り支援するための聴く
力が必要」「相手に伝える力、自分の
思いを言語化することが必要」等の感
想がありました。また、精神障害当事
者からは、最近起こった精神障害者が
関わる事件に関する報道のあり方、保
護室（精神科病院）の役割、ピアサポ
ートの効果他、体験談や問題提起を含め
た話を聞きデイスカッションを行いま
した。これらの貴重な経験を今後の精
神保健福祉士の実習やソーシャルワー
ク実践に活かしてほしいと願います。



(心理学部・木村志保)



健康科学科

第17回関西福祉科学大学公開講座 「養護教諭の実践力を培うボランティア活動の成果と課題」

本年8月10日(土)、第17回関西福祉科学大学公開講座「養護教諭の実践力を培うボランティア活動の成果と課題」を開催し、94名の方々にご参加いただきました。

健康診断ボランティアは、本学の地域連携公認プログラムとして柏原市教育委員会と市内の小学校・中学校・幼



稚園と連携して実施している事業であり、本年でちょうど10年目を迎えました。そこで、本学の斉藤教授をコーディネーターとして学外から4名のシンポジストをお迎えし、養護教諭の実践力育成に向けて、この活動の成果と課題を共有する機会としました。

大川尚子氏(京都女子大)には、本事業のスタートに携わった養成機関側のご経験から、安田典子氏(柏原市教育委員会)には、学校現場及び大学のニーズを捉えたうえで教育委員会の視点から、金碓なぎさ氏(同教育委員会)には、現職養護教諭として学生ボランティアを受け入れたご経験から、新子寿一氏(同教育委員会教育長)には行政のお立場からご提言いただきました。健康診断ボランティアを通じて、学生は養護教諭の職務を学び、子ども理解が深まったこと、健康診断業務についての知識・技術の習得につながったことなどが報告されました。

福祉栄養学科

給食経営管理理論実習室が 新しくなりました

以前は1階にあった給食経営管理理論実習室を同じ建物の4階へ移転、リニューアルしました。4階窓から眺める景色は、ぶどう畑と山並みであり、柏原市らしい風景です。今回の改修は「欧州の古城を改築したオーベルジュ」がテーマです。うす暗い石壁を抜けて広がる、明るいコートヤードをイメージしました(福祉栄養学科公式「Twitter」で、大学広報室が作成した美しい動画をご覧ください)。機器はすべて最新式です。給食経営管理理論実習の担当教員である坂口先生と実習室助手の意見が隔々にまで反映されています。おかげで、学生がスムーズに実習を行い、自信を得た様子は見ているだけで伝わりました。ハードウェアの改修が学生の「のびしろ」を伸ばして、成長させる事実、我々にとっても新鮮でありました。

また、新しくなった実習食堂を活用して、健康教育のイベント開催を計画しており、学生が参画する「生活習慣病予防を目的とした健康食教育プログラム」の完成を目指しています。さらに、同じフロアへ日本酒やワインの「醸造プラント」を構築する予定であり、学んで楽しい！体験・経験が学びへ繋がる！将来に活きる！教育・研究を通じた学生主体の「のびしろ発見」へ期待しています。



福祉栄養学科 Twitter
のQRコード

リハビリテーション学科

国家試験対策について

リハビリテーション学科では、来年2月の国家試験に向けて受験対策が開始しております。今回は各専攻の活動をご紹介します。

理学療法専攻

【目指せ！全員合格】



理学療法専攻では、4月から本格的な国家試験対策をスタートさせています。毎日の小テストや少人数でのグループ学習を取り入れながら、朝9時から夕方6時まで必死に勉強を続けています。今年こそは、学生・教員が一丸となって、悲願である『全員合格』を勝ち取ります。

作業療法専攻

【100%合格のために…国家試験合宿】

作業療法専攻では、毎年、国家試験合宿を開催しております。今年度は3回を予定しており、第1回目の合宿は9月17日から2泊3日で実施しました。合格するためには、知識だけでなく、集中力と体力が重要です。この

言語聴覚専攻

【国家試験に向けて】

時期に1日12～15時間学習することで、勉強に取り組む姿勢が培われます。



4年生の秋学期には、国家試験対策も本番となります。今まで積み上げてきた知識を、国試対策授業で磨きをかけ、模擬試験で実力を試しながら、実力アップを図ります。机の上には、沢山の参考書や学修ノートを積み、集中して記憶したり、友人と問題を出し合ったり、充実の時間が流れています。勉強会

に積極的に参加し不得意科目の克服を目指して国家試験対策の学修に励んでいます。



教育学科

基礎ゼミナールⅢ・Ⅳで絵本作り

昨年度、教育学科子ども教育専攻2年生の一部の学生（図画工作担当の湯川准教授が指導する学生6名）は、基礎ゼミナールⅢ・Ⅳの授業を通して絵本作りに取り組みました。

春学期の基礎ゼミナールⅢの時間に、今年の活動として絵本作りをしようとした後、各自が絵本を10冊読んで読書日記を作成しました。読んだ絵本は幼児の表現領域にかかわる「色」「かたち」「音」「言葉」などをテーマに選ばれた10冊です。絵本を読みながら、その世界に浸り、感想を発表しあう中で、次第に自分が作りたいお話や絵のイメージを固めてゆきます。

続いてラフスケッチ（ラフ）を描きます。物語の流れや構成、どんな絵に

するか、材料は何にするかなど、細かな点までこのラフの段階で決めてゆきます。

こうした過程を経て、秋学期の基礎ゼミナールⅣの授業でいよいよ本番の絵本作りです。一人一人が絵本を1冊完成させるのですから、15回の授業時間ではかなり厳しいですが、ラフの時点で綿密に計画を立てているため、作業は比較的滞りなく進みました。学生それぞれが個性的なストーリーと絵を工夫しながら制作にいきなりました。

完成作品は今年の7月から11月まで、大学図書館で展示され、本学学生やオープンキャンパスに来てくれた来場者の皆さまに鑑賞していただきました。



平成30年度 就職状況について

平成30年度卒業生の就職状況につきましてご報告致します。

大学全体の就職率（就職希望者に占める就職者の割合）は98.5%と、例年同様全国の大学就職率（97.6%※1）を上回る就職率となりました。

学科別では、社会福祉学科 97.6%、臨床心理学科 95.3%、健康科学科 98.7%、福祉栄養学科 100.0%、リハビリテーション学科 100.0%となっております。平成30年度も多く卒業生が、学科での学びを活かすことのできる就職先に就くことができました。

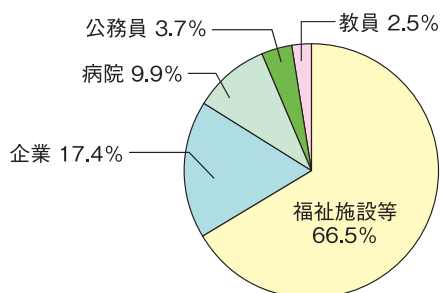
また、卒業生全体に占める就職者の割合は、全国平均が74.2%（※1）なのに対し91.0%と16.8ポイントも上回っており、本学の就職率の強さが表れる結果となっています。

※1)文部科学省大学等卒業者の就職状況調査(令和元年5月17日)より

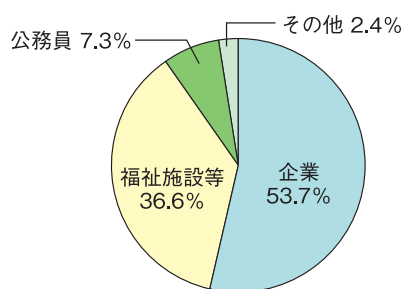
	大学全体	社会福祉学科	臨床心理学科	健康科学科	福祉栄養学科	リハビリテーション学科
卒業生数	513	180	49	82	76	126
就職希望者数	474	165	43	77	76	113
就職者数	467	161	41	76	76	113
就職率	98.5%	97.6%	95.3%	98.7%	100.0%	100.0%
進学者数	16	7	6	3	0	0

就職決定者の業種内訳

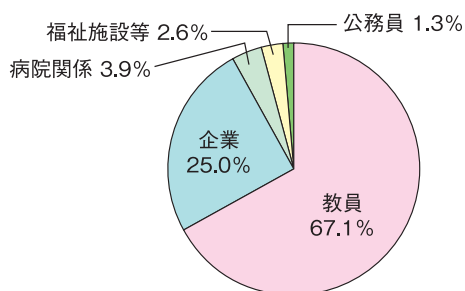
社会福祉学科



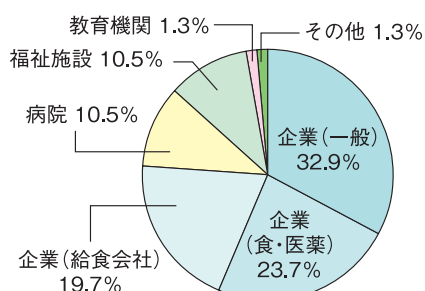
臨床心理学科



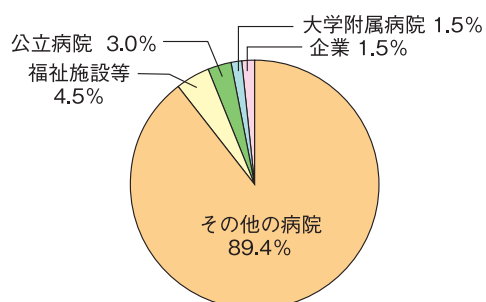
健康科学科



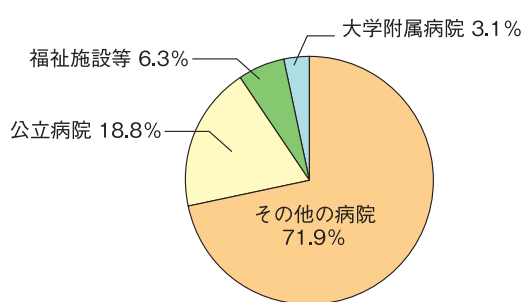
福祉栄養学科



リハビリテーション学科(理学療法学専攻)



リハビリテーション学科(作業療法学専攻)



国家試験合格状況

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験

(H31.2.2・3 実施)

社会福祉士	63名 合格(全国192校中 17位)
精神保健福祉士	15名 合格(全国 80校中 23位)

理学療法士国家試験

(H31.2.24・25 実施)

	受験者	合格者	合格率
本 学	70 名	69 名	98.6%
全 国 (うち新卒)	12,605 名 (10,608 名)	10,809 名 (9,845 名)	85.8% (92.8%)

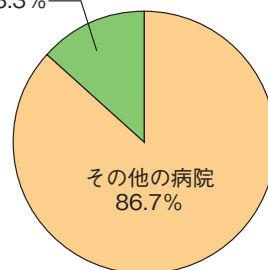
言語聴覚士

(H31.2.16 実施)

	受験者	合格者	合格率
本 学	20 名	15 名	75.0%
全 国	2,367 名	1,630 名	68.9%

リハビリテーション学科(言語聴覚学専攻)

公立病院 13.3%



管理栄養士国家試験

(H31.3.3実施)

	受験者	合格者	合格率
本 学	50 名	49 名	98.0%
全 国	17,864 名	10,796 名	60.4%

作業療法士国家試験

(H31.2.24・25 実施)

	受験者	合格者	合格率
本 学	38 名	32 名	84.2%
全 国 (うち新卒)	6,358 名 (5,137 名)	4,531 名 (4,108 名)	71.3% (80.0%)

K-SI(関西福祉科学大学サプリメント・インストラクション)の取り組みについて

大学では、昨年度より上記の取り組みを始めました。学生による学生のサポート事業であり、主として英語や国語等の学習で困ったことを、先輩に相談して一緒に考えていく取り組みです。研修を受けた2・3年生が、1年生を中心とする相談者に親身に向かい合います。

昨年は先輩の時間割をもとに毎日1コマ設定していましたが、今年度は、月曜から金曜のお昼休みに図書館の中にあるラーニングコモンズにて行います。時間と場所を固定しているので、参加しやすくなりました。

困ったときは勇気を出して聞きに来てくださると、きっといい方法が見つかります。優しい先輩が毎日数名スタンバイしています。

わからないと決めつけず、先輩にサポートしてもらい、得意なこと増やしていきませんか。



学生サポーター(一部)

精一杯
がんばります！

新しい講義室・校舎の紹介

現在、本学では学生の学修環境を確保するため、講義室や自習室の増築・整備に取り組んでいます。今年度春学期には、学園本館 1 階に新たに 2 つの中講義室が完成しました。

また短大 1 号館横に「感恩館（仮）」という新校舎が来年の春に完成予定です。「感恩館（仮）」の 1 階は大学事務局（教務部、学生支援センター）、2、3 階はラーニングcommons、4～6 階は講義室が設けられます。2、3 階のラーニングcommonsには、空間を自由に使って学修やイベント等を行うことができる『コラボレーションエリア』、個人で集中して学修できる『パーソナルスタディエリア』、ゼミ学修や会議等に最適な『プレゼンテーションルーム』を設ける予定です。4～6 階には、プレゼンテーションに適した講義室や、机と椅子のないフローリングの講義室等、アクティブラーニングに対応することができる講義室を設置し、様々な学修用途に合った環境作りを目指します。

ぜひ学生の皆さんに学園内の学修環境を活用していただき、学修意欲や学力の向上に役立てていただきたいと思います。



学園本館 1 階 102 講義室



感恩館（※イメージ図）



感恩館 2階ラーニングcommons（※イメージ図）



感恩館 4階大講義室（※イメージ図）

感恩のこころ

第15号 令和元年11月発行

発行：関西福祉科学大学教育後援会
編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 3-11-1
TEL 072(978)0088 FAX 072(978)0377